

片瀬だより

令和7年9月25日 発行

編集・発行

片瀬だより編集委員会

藤沢市片瀬3丁目9番6号

電話 29-7171

FAX 25-8907



片瀬市民センター（本館）

知恵の輪倶楽部《要申込》

日時：10月1日（水） 午後1時30分～3時30分

11月21日（金） 午前10時30分～午後0時30分

「大人も楽しめる絵本の世界」

「初めてのアロマテラピー」

おひざの上のおはなし会とわらべうた

日時：10月10日（金）・11月14日（金）・12月12日（金） 午前11時～正午

Let's Try Katase kids《要申込》

日時：11月1日（土） 午後1時30分～3時30分

「大学生と一緒に学んでみよう！プログラミング」

12月20日（土） 午前10時30分～午後0時30分 「絵本の中の料理をつくろう！」

1月31日（土） 午前10時～正午 「太陽熱風車をつくろう！」

オレの挑戦！ソロキャンプとお手軽料理《要申込》

日時：11月8日（土） 午前11時～午後1時30分

11月22日（土） 午前11時～午後2時

共生社会講演会《要申込》

日時：12月6日（土）

午前10時～正午

片瀬福寿学校公開講座《要申込》

日時：10月9日（木） 「読んで聞く平家物語 那須与一」

12月11日（木） 「ウクレレで奏でるクリスマスソング」

午後2時～4時

スマホ活用術《要申込》

日時：11月26日（水）

12月3日（水）

午後2時～4時



親子で JAXA へ行こう！《要申込》

日にち：2026年1月6日（火） 場所：JAXA 相模原キャンパス・相模原市立博物館

片瀬しおさいセンター

楽しく子育て《要申込》

日時：10月22日（水） 「みんなで一緒に3B体操」

11月19日（水） 「楽しい英語と絵本」

午前10時～11時30分



赤ちゃん和妈妈のふれ愛タイム《要申込》

日時：12月4日（木） 午前10時～11時30分

ようこそ小さな空間 アンソレイユ

日時：10月6日（月）

11月10日（月）

12月1日（月）

午前10時～正午

昼のエクササイズ ～心と身体をつなぐバレトン～

日時：10月1日（水）・11月5日（水）・12月3日（水） 午前10時～11時



おもちゃの病院

日時：10月18日（土） 午後1時～3時

11月15日（土）・12月20日（土）

午後1時30分～3時30分

スマホお助け隊《要申込》

日時：10月9日（木）・11月20日（木）・

12月18日（木）

午前9時～正午

◎申込みは、片瀬市民センター地域づくり担当（平日のみ午前8時30分～午後5時まで）または電子申請で

生涯学習事業のお知らせ 申込み、詳細は広報・地域回覧・ホームページ等をご確認ください。



←片瀬市民センター／しおさいセンターの生涯学習事業案内

片瀬中学校のカイノキ

学習支援等として20年以上片瀬中学校で活動されていた、成田正さんとお話する機会がありました。

伺ったお話の中に校門近くにあり、普段は何気なく見ていた大きな「カイノキ」の所以が興味深かったので、片瀬中学校のホームページで調べてみました。以下、片瀬中学校のホームページからの引用です。



『校門を入ってすぐ左にあるカイノキ（楷樹・楷の木・学名:Pistacia chinensis）は、創立六十周年を記念して2007年に植えたものです。秋には紅葉し学校に彩りを添えてくれています。』

「楷書」はカイノキの枝ぶりに似た書体なので楷書となったそうです。

カイノキは今から二千五百年ほど前、孔子が亡くなったときに弟子の子貢が中国山東省曲阜（孔子の生誕の地でもある）に植えた木です。そこは、現在、観光名所になっています。

「孔廟（孔子を祀ったお廟）」「孔府（孔子の子孫が代々住んでいるところ）」「孔林（弟子たちが植えた木々の森、カイノキもここに植えられている）」を「三孔」と言います

カイノキの種が日本に初めて持ち込まれたのは大正4年のことだそうです。また、カイノキは、学問の聖木とされていることから、日本では岡山

県の閑谷（しずたに）学校をはじめ各地の孔子廟に植えられました。

中国では科挙の進士に合格したものに楷の笏（しゃく）を送ったことから、その合格祈願木とされていたそうです。

本校のカイノキは「孔林」から日本にもたらされた聖木の子孫です。東京目黒の農商務省林業試験場（現在は都営林試の森公園）で育てられた木が湯島聖堂に植えられ、やがて種をつけるようになりました。鵜沼在住の方が、湯島聖堂から種を譲り受け、播種・育苗し、鵜沼中学校とともに本校にも寄贈してくださいました。』

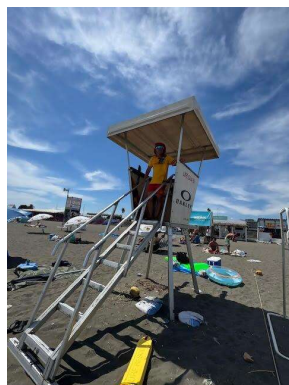
なお、創立六十周年記念事業として、この「カイノキの植樹」の他に「校章プレートの寄贈」、「校歌レリーフの修復」、「記念式典・記念コンサート」が行われたそうです。

海の安全を守るライフセーバー

暑かった今年の夏も9月になり、ようやくひと息つく頃となりました。

多くの観光客が訪れる片瀬海岸では、海水浴シーズンには、警察、観光協会、海の家組合、ライフセーバーなど、海での遊びをサポートする多くの方々の協力で、安心・安全が保たれています。

中でも真っ黒に日焼けして海岸の監視塔に座るライフセーバーの姿をご覧になった方も多いのではないのでしょうか。



皆さんは特定非営利活動法人ライフセービングクラブに所属するライフセーバーの有資格者です。活動内容は、片瀬東浜海水浴場、片瀬西浜・鵜沼海水浴場、江の島岩屋での監視と救助活動、及びけが人の応急手当です。

7月下旬、片瀬東浜パトロールキャプテンの近藤さんを訪ねると「活動は7月1日から8月31日まで。平日は午前9時から午後5時。休日は午前8時から午後5時です。夏の活動以外では、年間を通じて週一回の訓練が続いています。海で安全に遊ぶため、特に飲酒での海水浴の危険性、また、子ども連れの方々には子どもから決して目を離さないことを強くお願いしたいです。」と真剣な眼差しで答えてくれました。



※7月30日津波警報発令時の対応は？

避難警報が鳴ると同時に、海にいるお客様を陸にあげ、避難所である龍口寺へ誘導避難しました。

てらこや食堂

今夏、常立寺で「てらこや食堂」が開かれました。7月23日、8月12日、8月25日の3日間、延べ50人を超える小学生が集いました。



地域の大人が見守る中で、のんびりとおしゃべりをしたり、夏休みの宿題を片付けたり、それぞれの時間を楽しく過ごしていました。

片瀬こま

片瀬こま保存会 杉下由輝

【「片瀬こま」とは?】

昭和初期より湘南地域で遊ばれてきた木の独楽です。

本体は伊豆大島の椿、心棒は榎、ヒモは麻を使用致します。こま同士をぶつけ合うと、重量感があり硬い素材の「片瀬こま」が、相手のこまを弾き飛ばしてしまう様子から、別名「喧嘩こま」とも呼ばれています。

色は緑と赤の2種類。赤いこまは、「お祝いこま」とも言われ、お祝い時に贈呈されたそうです。

現在、片瀬こま職人は、故・熊野安正氏が逝去後、弟子の杉下由輝一名のみです。

伊豆大島に渡り、材料の椿の切り出し作業に始まり、製造から紐作りまで全て一人で行っており、一個作るのに半年から一年かかるため、量産ができず、現在は入手困難な貴重なこまとなっております。



【何故、椿? 榎? 麻? なのか?】

昔は、漁師町であった片瀬地区。漁で伊豆大島に行くことが多く、椿を沢山もらうことができ、また、榎は船のオールとして、麻は投網の材料として使われていたもので、折れたオールや穴が空いた網をリサイクル、リユースして作られたことからSDGsな遊びで、「物を大切にする心(湘南レガシー)」から生まれた郷土玩具と言えます。

【回し方】

心棒の根元に、ひもの先端を合わせて、反時計回りにまいていきます。ひもの先端を少し水で濡らしておくと、ひもの引っ掛かりが良くなり、回転スピードがアップします!! ヒモの太い部分を「はたき」と言い、こまの側面を叩いて、回転数をアップさせ、長く回します。

【なぜ元氣よく回した方が良いのか?】

片瀬こまは、開運成就の縁起物でもあります。勢いよく回せば邪気を飛ばし「無病息災」「健康平癒」、長く回り続けると物事がうまく回り、「金運向上」「商売繁盛」の御利益などがあると言われています。

【みんなを笑顔にする片瀬こま】

片瀬こま大会は、子供から大人、シニアの方まで一緒に対戦します。数年前の決勝戦は、5歳の幼稚園児と81歳のおじいちゃんが対戦。結果は、年期の差でおじいちゃんが優勝されました。

片瀬こまは、老若男女を問わず、誰もが一緒に楽しい時間を共有できる環境を作ってくれるのが、魅力の一つでもあります。今後も体験会や大会などを通じて、みなさんを笑顔にしてくれると思います。



※10月18日(土) 片瀬しおさいセンターで「片瀬こま体験」を開催します! ぜひご来場ください。

片瀬海岸3丁目

津波避難タワー完成

片瀬海岸3丁目に津波避難タワーが完成し、7月26日に完成セレモニー、見学会が催されました。

鉄骨造2階建て、中間階は地上から4.05メートル。屋上は地面から7.05メートルです。

藤沢市に最大クラスの被害をもたらす地震津波が発生した場合、津波水位は約3.4メートルと想定されています。

避難人数は屋上階、中間階を含め971人、備蓄資材保管倉庫、多機能トイレ、非常発電機、非常照明、監視カメラ等が整備されています。建物はバリアフリー設計により、車椅子や高齢者も利用しやすい設計になっています。



平時は施設されていますが、災害時には扉の一部を簡単に壊し開錠して避難ができるそうです。

お散歩の折りなどに避難タワーの位置などを確認されていて、いざという時に備えてはいかがでしょうか。

※7月30日の津波警報で同施設が早々に活用され、多くの方が避難されました。



ふるさと片瀬

く昔あれこれ④

中村 喬

「江の島の亀の話」

子どものころから親しんできた小田急片瀬江ノ島駅の駅舎、竜宮城を形どった建物は江の島を訪れる人たちを弁財天の待つ江の島へと誘う。駅舎の天井には四匹の亀が泳いでいて、案内役をしてくれそうだ。かつて片瀬の子どもたちにとっても江の島は夢の島だった。

奥津宮には「八方睨みの亀」がいるとは昔からよく聞かされていた。また亀石が置かれているとも大人たちから教えられたものだった。

江の島は昔から亀の形に似ているといわれてきた。たしかに七里ヶ浜の砂浜に立って江の島を見ると海の中から亀が姿を現しているように見える。亀は万年と言われ、長寿の象徴であり吉兆の動物なのだ。その江の島にかつて金亀山興願寺という寺院があった。山号に「亀」の一字が使われている。

江の島には今より多くの旅館が存在していた。その中にも金亀楼という名前の立派な旅館があった。昭和三十九年に火事があつて全焼してしまったことを今でもよく覚えている。

ある時、江の島岩屋の前の海中に

彫られた亀があるという話を耳にした。大きな亀が竜宮城に帰っていくようだという話が伝わって話題になった。一体誰が彫ったのか？江の島に関わるミステリーとしてあれやこれやと想像がふくらんだ。

令和の今、湘南モノレール社が発信する情報によると『稚児ヶ淵から岩屋洞窟へ行く途中、波間に見え隠れする亀。地元片瀬にある「中村石材」の先代がノミをふるったものと言われているそう』とある。先代の名前は中村亀太郎である。私ごとになって恐縮だが、この人物は私の伯父なのだ。

令和の今、折に触れて私は江の島を散策する。亀ヶ岡広場に立って大島が浮かぶ相模の海を眺める。波を分けて亀が行き来する姿を想像すると夢が広がる。

【くろぐろと大島近し秋夕焼】



奥津宮

片瀬市民図書館からのご案内

電話28-6935

市内に在住、在勤、在学の方ならどなたでも、一人10冊まで2週間借りられます。

【開室時間】

火・日曜日

午前10時～午後5時

《新刊案内》

「チョコレート・ピース」

青山 美智子

「烈風を斬れ」

砂原 浩太郎

「今日は昨日のつづき」

谷川 俊太郎

「パイアから人生」

夏井 いつき

「皇后の碧」

阿部 智里

「温泉小説」

朝比奈 あすか

「嘘と隣人」

芦沢 央

「団地メシ！」

藤野 千夜

「救われてんじやねえよ」

上村 裕香

「署長サスペション」

今野 敏

「江戸職人奇譚」

佐江 衆一

「珈琲怪談」

恩田 陸

『第46回片瀬地区ふれあいまつり』

見どころ紹介！

片瀬地区ふれあいまつりが、10月18日(土)・19日(日)の二日間 にわたり開催されます。

【片瀬市民センター】

◇模擬店

◇音楽芸能部会発表、片瀬中学校合唱部発表

◇展示部会による展示、即売

◇はじめての映画く子どもの映画デビューを応援

【片瀬しおさいセンター】※10月18日のみ

◇スポーツレクリエーション部会発表

◇キッチンカー

◇包丁とぎ

◇歩行測定

◇健康相談コーナー(おくすり相談・血管測定・介護相談・栄養相談など)

◇ココファン・カフェ

◇赤ちゃん広場

編集後記

今夏、気温41度が計測され、我が国の最高気温を更新した。熱中症警戒アラートが頻繁に発令され、外出や行動の制限が指示された。全国高校野球選手権大会は、試合開始を午前と夕方に分けて実施した。

学校では、運動会を半日開催や時期を遅くする傾向だ。快晴に響く歓声、元氣溢れる子ども達の活動確保への配慮だ。今夏は、穏やかな四季が失せ行く日本を強く感じた猛暑であった。(落)

